平成 26 年 8 月 1 日
第 35 号

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

眼科で初診時紹介予約制が始まりました

6 月から、眼科で初診時紹介予約制が始まりました。

当院では、紹介状をお持ちの患者さまの待ち時間がなるべく短くなるように、次の診療科で「初診時紹介予約制」を行っています。どうぞご利用下さい。

ご予約の際は、かかりつけの先生の紹介状をご用意下さい。

初診時紹介予約制　実施診療科(6 診療科)
血液内科、リウマチ･膠原病内科、腎臓･高血圧内科、呼吸器内科、
消化器・一般外科の乳腺内分泌外来と甲状腺外来、眼科

【ご予約方法】

・患者さまから電話でご連絡をお願いします。
０４５－３６６－１１１１（代表）
・「初診紹介予約希望」「受診科」をお伝えください。担当の地域医療連携係へ電話が転送されますので、日時についてご相談下さい。予約を取得後、予約の日時に受診してください。

【ご予約受付時間】

月曜日から金曜日　9:00～16:00
土曜日(第 1･第 3 を除く)　9:00～11:30
※休診日(第 1･第 3 土曜日、10 月第 2 土曜日、日曜日、祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日))は、受付していません。

Seibu Time　⑥『中原街道』

当院のすぐ近くを中原街道が通っています。東京都の桜田通りから川崎市中原区丸子、横浜市緑区中山を通り、平塚市の中原御殿へと続いている幹線道路で、「神奈川県道 45 号丸子中山茅ヶ崎線」の一部です。この街道は、江戸時代に整備された東海道よりも、古くから使われていたそうです。

2 南病棟（小児病棟）の名称を「こどもセンター」に変更しました

このほど、2 南病棟を「こどもセンター」という名称に変更しました。

当院は、小児科三次救急対応病院、県周産期医療システム基幹病院として、横浜市の小児・周産期救急医療体制において重要な役割を担っています。

こどもセンターの常勤の医師は、小児科医 7 人、小児外科医 3 人で、こどもの疾患全般に幅広く対応し、院内各診療科と連携を取って診療にあたってまいります。近隣の病院及び開業の先生方との小児医療連携セミナーの開催、横浜市児童虐待防止医療ネットワークへの参加などを通じて、地域との連携を一層深め、さらに貢献したいと考えています。

(当院ホームページに案内を掲載しています。どうぞご覧下さい。)

「こどもセンターでミキサー食を開始します」

口から食事を摂ることが難しい患者さまは、鼻から胃までチューブ（胃管チューブ）を入れたり、胃に直接チューブ（胃ろうボタン）を入れて液体の栄養剤を使った食事が一般的です。しかし、液体の栄養剤だけではビタミン等の栄養素が不足します。

近年、胃ろうからの栄養として、普通の食事をミキサーにかけた「ミキサー食」を摂取する試みが複数の施設で始まりました。「ミキサー食」を変更することで、口から食事した場合と同等の栄養素を摂ることができたと報告されています。また、食事時間が短縮できた、入院の回数が減った、下痢だった便が普通便になった、嘔吐が減った、皮膚の艶が良くなった等の体調の変化を実感されているご家族も多いようです。

そこで、「こどもセンター」では胃管チューブや胃ろうから「ミキサー食」が始められるように医師・看護師・栄養士で支援できる体制を整えました。家族の方と同じ食事を取ることができる喜びや、季節の食材や匂いを楽しむことができるよう、患者さまに寄り添い、最善の方法をご家族の方と検討していきたいと考えます。興味がある方は是非「こどもセンター」にご相談下さい。

お好み焼き

ミキサー後

〔こどもセンター　磯　千寿子〕

シリーズ　「認定看護師について　②：新生児集中ケア」

新生児集中ケア認定看護師は、2005 年に全国で 30 名が誕生しました。現在では 313 名が、各地の周産期関連の部署（母性・新生児・小児など）で活躍しています。当周産期センター　新生児部門には 2 名が配属され、生まれたばかりの赤ちゃんの専門家として、赤ちゃんの反応を全身から読み取り、生命危機から脱することのお手伝いと、正常な成長発達を促すための援助をしています。センターには、お母さんのおなかの中に長くいられずに体重が 300ｇ台で出生した赤ちゃんから、重篤な病気のために手術を受ける赤ちゃんもいらっしゃいます。患者である赤ちゃんとご家族にとって最も大切なことは何か、どのような手助けができるのかを常に考え、医師や他職種と協力し看護を実践しています。常に新生児看護に関する高度な技術と最新の知識を持ち合わせるために自らも学習を積み、専門性の高い看護師育成のための教育体制を整える活動に努めています。私たちは、これからも当センターを必要とする赤ちゃんとそのご家族が安心して過ごせる病棟を目指していきます。

新生児集中ケア認定看護師
看護主任：畑中　身和子
看護師長：高塚　美紀

患者さまのご意見から　No.02

・今まで西部病院に通院していたが、地域のかかりつけ医へ行くように言われた。私は西部病院から見捨てられてしまったのか。

当院からの回答

そのようなことはございません。症状が落ち着いた患者さまには、今までの治療の経過を記した紹介状を当院医師が作成して、地域の先生へご紹介させていただきます。これは、地域医療における大切な役割分担であり、我が国において医療機関をご利用いただくための仕組みの１つです。初めて受診されるときに紹介状をお願いしているのも、同様の仕組みです。地域のかかりつけの医療機関とは連携を取っておりますので、もし、症状に変化があって当院での治療が必要な状態になりましたら、かかりつけ医の紹介状をご持参の上、ご来院下さい。

どうぞ、お大事になさって下さい。

救急の日のイベントについて

９月６日に、旭区消防署主催の「救急の日」イベントが二俣川駅改札コンコースで開催されます。旭区福祉保健センター職員のほかに、当院からもこどもセンターの医師、看護師が参加し、緊急時の対応の仕方、慢性疾患の生活指導等について説明したり、小児救急インストラクターの資格を持つ看護師による心臓マッサージの仕方やＡＥＤの使い方などの実演等を予定しています。また、健康相談も実施しますので、お時間がありましたらどうぞお出かけ下さい。詳しくは、開催近くに院内で掲示されるポスターや、当院ホームページなどでご確認下さい。

旭区救急フェア２０１４
日時：平成 26 年９月６日（土）10 時～14 時(予定)
場所:相鉄線二俣川駅　コンコース(改札付近:当院内ではありませんので､ご注意下さい)

総合相談部について

総合相談部では、入院中、または外来診療をされている患者さま、ご家族の方のご不安に思われることについて、ご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい（ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします）。

【ソーシャルワーク係】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配　など。

【ホームケア係(看護相談など)**】**介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい　など。

【地域医療連携係】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい　など。

【総合案内】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい　など

【患者さま相談窓口】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：
・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1 階正面玄関横)
・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1 階産婦人科外来横)
・総合案内(1 階正面玄関)

当院は原則として「初診紹介制」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関（かかりつけ医等）からの「紹介状」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【当院の休診日】
日曜日､国民の祝日､第 1・3 土曜日､開学記念日(10 月第 2 土曜日【今年は 10/11 です】)､
年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院　地域広報小委員会
〒241-0811　横浜市旭区矢指町 1197-1　TEL：045-366-1111(代)